

■ 質問

構造計算概要書の作成方法を、教えてください。

■ 回答

構造計算概要書の作成方法は、下記によります。

次の方法でテキストファイルを開き、必要事項を書き込みます。[ファイル名:.....\*1.....gysy]

\*1 ファイルの名称は物件名であり、.....asl ファイルの保存場所に作成されます。

一連の計算終了後(断面計算終了の事)・メインメニュー・「計算結果」 ----> ツリーメニュー  
「概要書出力」 ----> 「概要書出力設定」ダイアログ表示 ---->①

新規の場合 : ①----> 「新規」クリック ----> テキストファイル表示 ----> 必要事項の  
書き込み ----> 上書き保存 ----> 閉じる

2回目以降の場合 : ①----> 「編集」クリック ----> テキストファイル表示 ----> 必要事項の  
書き込み ----> 上書き保存 ----> 閉じる

※1 「概要書出力設定」ダイアログは下図参照

※2 概要書の書き込みは、次頁図参照

(参考図)

[「概要書出力設定」ダイアログ]

出力設定						
概要書に盛り込む内容を記入したファイルのパス名					新規	編集
<input type="text"/>					継承	読込
	名称	フォントサイズ	大きさ			
略伏図	<input type="text"/> ▼	自動設定 ▼	1/2 ▼	<input checked="" type="checkbox"/> ページ番号の出力		
略軸組図	<input type="text"/> ▼	自動設定 ▼	1/2 ▼	保存    キャンセル		

(参考図)

構造計算概要書書き込み

\* §1.2 構造設計を行った者

- \* 資格 :
- \* 氏名 :
- \* 建築士事務所 :
- \* 郵便番号 :
- \* 所在地 :
- \* 電話番号 :

「計算書(基本データ)」に入力した場合は、書き込みは不要です。

\* §1.6 構造上の特徴

\*start: <-行頭から ここまで->  
\*end:

(記入可能範囲)

(enterキーで縦の範囲を  
広げることができます。)

\* §1.8 平成19年国土交通省告示第593号各号の規準に適合していることの検証内容

\*start: <-行頭から ここまで->  
\*end:

\* §1.10 使用する材料と部位

\* 普通コンクリート

- \* Fc24: [ ]
- \* 使用部位: [ ]
- \* 認定の有無: [ ]
- \* 備考: [ ]

\* 鉄筋

- \* SD295A
- \* 認定の有無: [ ]
- \* 備考: [ ]

\*\* 高力ボルト

- \*\* S10T: [ ]
- \* 使用部位: [ ]
- \* 認定の有無: [ ]
- \* 備考: [ ]

※1 任意の材料を追加したい場合は " \*\* " と入力して下さい。

■ 任意の材料の許容応力度の入力は \* §1.11 で行い、  
詳細はマニュアルを参照して下さい。(P4-313・314)

※1

\* §8.9 保有水平耐力計算の結果

\*start: <-行頭から ここまで->  
\*end:

\* 参照頁

- \* a. §1 建築物の概要: [ ]
- \* b. [2. 構造設計を行った者]: [ ]

- \* a.t. [9. 保有水平耐力計算の結果]: [ ]
- \* a.u. §9 屋根ふき材等の検討: [ ]